

東日本大震災による加速器施設の被害状況 に関する記事の掲載について

今回の東日本大震災では多くの方が亡くなられ、また多大な被害がありました。編集委員一同哀悼の意を表し心よりお見舞い申し上げます。

この未曾有の大震災によって多くの研究機関が被害を受け、その研究活動を停止せざるを得ない状況となりました。加速器学会誌としては、この震災による加速器施設の被害状況を記録に留め、後の役に立てるべきではないかと考え、出来るだけ多くの加速器施設からの寄稿をお願いしよう、という検討を行いました。しかしながら、被害の程度、復旧への足取りなど、施設によって状況や立場が異なり、「その前に復旧が最優先である」「現時点では何をどのように書いたら良いのか判断できない」という意見もあり、加速器施設の被害状況を網羅するような事は、今はしないほうが良いのではないかと結論に至りました。このことについては、4月23日に開かれた評議員会でも議論され、同様の結論に至っております。

このような状況の中で本号(第8巻第2号)に、茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構のKEKB加速器、電子陽電子線形加速器、および茨城県東海村のJ-PARC加速器施設における被害状況についての3つの詳細な記事を書いていただきました。これらの記事は、貴重な記録として、また未来への教訓として生かされると思います。

まだ、完全な復旧までには多くに時間が掛かる施設も多いと思いますが、各々の施設の立場で震災による被害、影響について纏めることができる状況になった時には、加速器の未来に対して貴重な記録を残して教訓とすることが大切であると思いますので、加速器学会誌への寄稿をお願いいたします。その節には、編集委員会(加速器学会事務局)までご連絡ください。

平成23年6月16日

日本加速器学会誌「加速器」編集委員会